

### 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社デジタルホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2389 URL <https://digital-holdings.co.jp/>  
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）金澤 大輔  
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員グループファイナンス領域担当 （氏名）高橋 慎治 TEL 03-5745-3611  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

#### 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

##### （1）連結経営成績

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	3,639	△14.6	576	10.0	3,413	168.9	2,000	184.1
2024年12月期第1四半期	4,263	27.1	524	—	1,269	—	704	—

（注）包括利益 2025年12月期第1四半期 △493百万円（－％） 2024年12月期第1四半期 1,624百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBIT ※1		EBITDA ※2	
	円 銭	円 銭	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	114.58	112.71	3,494	177.5	3,567	163.3
2024年12月期第1四半期	40.33	—	1,259	—	1,354	—

（注）※1 EBIT＝税金等調整前四半期純利益＋支払利息－受取利息

※2 EBITDA＝EBIT＋その他金融関連損益＋減価償却費＋償却費＋株式報酬費用＋減損損失

##### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	46,930	31,097	60.8
2024年12月期	48,217	33,066	63.6

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 28,735百万円 2024年12月期 30,686百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		23.00	—	23.00	46.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年12月期 期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 20円00銭

・2023年12月期より配当については、のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向20％又はDOE（株主資本配当率）3％のいずれか大きい金額を目標としております。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

通期	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
	14,000	△13.3	700	△28.9	3,400	96.1	2,200	64.0

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	17,459,907株	2024年12月期	17,459,907株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	－株	2024年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	17,459,907株	2024年12月期 1 Q	17,459,907株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）2025年12月期業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年5月9日（金）に証券アナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。  
なお、当日使用する決算説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 2025年12月期業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、近年の資源価格の高騰等に伴う物価上昇の日本経済への影響や、中長期的な少子高齢化に伴う人口減少による国内市場への影響等が懸念される一方で、生成AI等の飛躍的な技術革新により、大量のデータとデジタル技術を活用した、従来の製品やサービス・ビジネスモデルを変革するデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現を目指す動きがより一層活発化しております。

このような経済環境のもと、当社グループの主要事業であるデジタル広告業界では、企業のマーケティングDXが進展し、動画・SNS広告や生成AIを活用した広告運用、データ活用の重要性が増しています。今後はAIの社会実装やメタバース、リテールメディアの台頭に加え、プライバシー規制強化など事業環境の変化が一層加速する見通しです。

当社グループは持続的な成長の実現に向け、以下に記載する施策に重点的に取り組み、売上の向上、収益性の改善、組織基盤の強化を確立し、企業価値を向上させていくよう努めてまいります。

具体的な施策内容は以下のとおりです。

#### <重点施策>

##### ① Marketing事業での売上高成長率の大幅改善

2024年4月にグループ連結子会社の統廃合を行いました。今後につきましては、業務改善およびAI活用等による顧客接点・向き合い時間を創出し、既存顧客の課題解決・事業成長に貢献するとともに、新規顧客の獲得にもより注力し当社グループの成長を推し進めてまいります。

##### ② AX実現に向けたFinancial Services事業における最適な債権ポートフォリオの実現（AX：Advertising Transformation、以下「AX」）

株式会社バンカブルが提供する広告費を対象とした分割・後払いサービスであるAD YELLや請求書カード払いサービスを中心に顧客アプローチを加速し、さらに取引社数を増加させてまいります。また、同時に1社当たりの利用額の適正化を図り、債権の小口分散化を早期に実現してまいります。

上記経営方針に基づいた事業推進の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は収益3,639百万円（前年同期比14.6%減）、売上総利益2,673百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益576百万円（前年同期比10.0%増）、EBIT3,494百万円（前年同期比177.5%増）、EBITDA3,567百万円（前年同期比163.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,000百万円（前年同期比184.1%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### <Marketing事業>

Marketing事業は、株式会社オプトが提供するデジタル広告支援を中心に、デジタルマーケティング支援及びDX開発等で構成されております。

Marketing事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、収益3,094百万円（前年同期比0.9%減）、売上総利益2,283百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益826百万円（前年同期比19.2%増）、EBIT917百万円（前年同期比34.8%増）、EBITDA987百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

#### <Financial Services事業>

Financial Services事業は、株式会社バンカブルが提供する広告費等の分割・後払いサービス事業等で構成されております。

Financial Services事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、収益84百万円（前年同期比37.2%減）、売上総利益75百万円（前年同期比33.2%減）、営業損失29百万円（前年同期は営業損失190百万円）、EBIT△28百万円（前年同期は△190百万円）、EBITDA△28百万円（前年同期は△176百万円）となりました。

#### <Investment事業>

Investment事業は、株式会社デジタルホールディングス、Bonds Investment Group株式会社、BIG1号投資事業有限責任組合、BIG2号投資事業有限責任組合、BIG SX1号投資事業有限責任組合、及びOPT America, Inc.にて運用を行う投資事業で構成されております。

Investment事業の当第1四半期連結累計期間における業績は、当第1四半期連結累計期間における株式売却等により収益463百万円（前年同期比54.8%減）、売上総利益317百万円（前年同期比47.9%減）、営業利益276百万円（前年同期比50.5%減）、EBIT3,104百万円（前年同期比137.9%）、EBITDA3,106百万円（前年同期比136.6%）となりました。

当社では投資成果の透明性を高めることを目的として、IRR (Internal Rate of Return) を開示しております。当第1四半期連結累計期間末時点での税引後IRRは18.7%となりました。なお、IRR算定対象となる銘柄は2013年度以降にInvestment事業で投資した銘柄を算定対象とし、4ページの脚注にて算出方法の詳細を開示しております。また、AUM (Assets Under Management) は、当第1四半期連結累計期間における株式売却等により前四半期末比13.6%減の10,866百万円となりました。

#### <グループ共通管理コスト>

グループ共通管理部門における当第1四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、485百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

(参考) 当第1四半期連結累計期間における報告セグメント別の収益・営業利益・EBIT・EBITDA・売上高

(%は前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		EBIT (注) 1		EBITDA (注) 2		売上高 (注) 3	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
Marketing事業	3,094	△0.9	826	19.2	917	34.8	987	34.4	15,121	0.8
Financial Services事業	84	△37.2	△29	-	△28	-	△28	-	84	△37.2
Investment事業	463	△54.8	276	△50.5	3,104	137.9	3,106	136.6	463	△54.8
調整額	△2	-	△496	-	△498	-	△498	-	△1	-
合計	3,639	△14.6	576	10.0	3,494	177.5	3,567	163.3	15,667	△3.0

(注) 1. EBIT=税金等調整前四半期純利益+支払利息-受取利息

2. EBITDA=EBIT+その他金融関連損益+減価償却費+償却費+株式報酬費用+減損損失

3. 売上高は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)適用前の旧基準売上高を示しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べて1,287百万円減少し、46,930百万円となりました。

流動資産は38,941百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,924百万円増加しております。これは主に、流動資産のその他が544百万円減少したものの、現金及び預金が2,436百万円増加したことによるものであります。

固定資産は7,989百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,211百万円減少しております。これは主に、投資有価証券が2,701百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ682百万円増加し、15,833百万円となりました。

流動負債は10,887百万円となり、前連結会計年度末に比べて565百万円増加しております。これは主に、未払法人税等が114百万円、賞与引当金が60百万円減少したものの、買掛金が824百万円増加したことによるものであります。

固定負債は4,946百万円となり、前連結会計年度末に比べて117百万円増加しております。これは主に、繰延税金負債が117百万円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ1,969百万円減少し、31,097百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2,000百万円増加したものの、配当金の支払により利益剰余金が1,135百万円、その他有価証券評価差額金が1,665百万円及び為替換算調整勘定が1,151百万円減少したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より2,436百万円増加し、24,177百万円となりました。これは営業活動及び投資活動により獲得した資金が、財務活動により使用した資金を上回ったことによるものであります。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は1,097百万円（前年同期は968百万円の増加）となりました。

これは主に、投資事業組合運用益が2,779百万円、法人税等の支払額が243百万円発生したものの、税金等調整前四半期純利益3,491百万円を計上したこと、仕入債務の増加が824百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は3,013百万円（前年同期は1,078百万円の増加）となりました。

これは主に、無形固定資産取得による支出が16百万円発生したものの、投資有価証券の払戻による収入が2,952百万円、事業譲渡による収入が77百万円発生したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は1,469百万円（前年同期は2,957百万円の減少）となりました。

これは、配当金の支払が1,128百万円及び非支配株主への払戻による支出が341百万円発生したことによるものであります。

（4）2025年12月期業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日に公表いたしました2025年12月期通期連結業績予想に変更はありません。

（脚注）IRR（Internal Rate of Return）

IRR算定の前提条件

- ・ 計算対象銘柄：2013年から2025年3月末までにInvestment事業で投資した銘柄
- ・ 計算基準日：2025年3月末
- ・ 算定方法
  - 1）減損銘柄の取扱  
減損時の純資産額で売却したと仮定して算定
  - 2）直近でファイナンス（株式による資金調達）がある銘柄の取扱  
当該資金調達時の株式価値評価額で売却したと仮定して算定
  - 3）IPO銘柄  
計算基準日の時価で売却したと仮定して算定
  - 4）ファンド銘柄  
2025年3月末以前の回収額と2025年3月末時点の簿価を用いてIRRを算定
  - 5）上記以外の銘柄  
売却、減損、ファイナンス（株式による資金調達）、IPO等により取得価額に変動がない銘柄は、算定基準日に取得価額で売却したと仮定して算定
- ・ IRR計算時における法人税の取り扱い：法人税を考慮

AUM（Assets Under Management）

関連会社株式は帳簿価額、営業投資有価証券及び投資有価証券は減損考慮後の公正価値の合計額

営業投資有価証券・投資有価証券の公正価値は銘柄ごとに区分し以下にて算定しております。

（関連会社株式については帳簿価額としております）

- ・ 投資額が少額な銘柄：取得価額
- ・ 上場会社である銘柄：2025年3月末時点の市場価格
- ・ 直近でファイナンス（株式による資金調達）がある銘柄：当該ファイナンス価額に基づいた評価額
- ・ 上記以外の銘柄については、事業の状況に応じて、マルチプル法・DCF法・純資産法に分類して算定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,741	24,177
売掛金及び契約資産	7,878	7,843
営業投資有価証券	3,570	3,729
棚卸資産	12	0
未収入金	3,056	2,996
その他	1,149	605
貸倒引当金	△392	△412
流動資産合計	37,016	38,941
固定資産		
有形固定資産	166	154
無形固定資産		
のれん	364	333
その他	310	293
無形固定資産合計	675	626
投資その他の資産		
関連会社株式	706	754
投資有価証券	8,543	5,842
敷金及び保証金	299	299
繰延税金資産	807	311
その他	0	0
投資その他の資産合計	10,358	7,208
固定資産合計	11,201	7,989
資産合計	48,217	46,930
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,822	8,646
短期借入金	84	84
未払法人税等	280	165
契約負債	164	121
賞与引当金	249	188
その他	1,721	1,680
流動負債合計	10,322	10,887
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
繰延税金負債	651	769
資産除去債務	176	176
固定負債合計	4,828	4,946
負債合計	15,150	15,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,212	8,212
資本剰余金	3,843	3,843
利益剰余金	14,075	14,941
株主資本合計	26,130	26,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,855	190
為替換算調整勘定	2,699	1,547
その他の包括利益累計額合計	4,555	1,738
新株予約権	1	1
非支配株主持分	2,379	2,360
純資産合計	33,066	31,097
負債純資産合計	48,217	46,930

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
収益	4,263	3,639
売上原価	1,298	965
売上総利益	2,965	2,673
販売費及び一般管理費	2,441	2,097
営業利益	524	576
営業外収益		
為替差益	—	4
持分法による投資利益	—	48
投資事業組合運用益	745	2,779
その他	3	9
営業外収益合計	749	2,842
営業外費用		
支払利息	2	5
為替差損	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	3	5
経常利益	1,269	3,413
特別利益		
固定資産売却益	0	—
事業譲渡益	2	77
その他	0	0
特別利益合計	3	77
特別損失		
固定資産除却損	0	—
子会社清算損	16	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	1,256	3,491
法人税等	101	1,278
四半期純利益	1,155	2,213
非支配株主に帰属する四半期純利益	451	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	704	2,000



（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
四半期純利益	1,155	2,213
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△1,554
為替換算調整勘定	496	△1,151
その他の包括利益合計	469	△2,706
四半期包括利益	1,624	△493
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609	△816
非支配株主に係る四半期包括利益	14	323

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,256	3,491
減価償却費	56	39
のれん償却額	31	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	130	19
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△222	△60
受取利息及び受取配当金	△0	△2
支払利息	2	5
投資事業組合運用損益 (△は益)	△745	△2,779
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	—
子会社清算損益 (△は益)	16	—
持分法による投資損益 (△は益)	—	△48
事業譲渡損益 (△は益)	△2	△77
固定資産除却損	0	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△682	35
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	416	△78
仕入債務の増減額 (△は減少)	119	824
未収入金の増減額 (△は増加)	257	60
未払金の増減額 (△は減少)	255	△27
未払費用の増減額 (△は減少)	△13	△113
未払消費税等の増減額 (△は減少)	123	31
その他	16	△9
小計	1,016	1,341
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△2	△5
法人税等の支払額	△44	△243
法人税等の還付額	—	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	1,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△59	△16
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△240	—
投資有価証券の売却による収入	0	—
投資有価証券の払戻による収入	1,375	2,952
事業譲渡による収入	2	77
敷金及び保証金の回収による収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,078	3,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,000	—
非支配株主への払戻による支出	△656	△341
配当金の支払額	△1,300	△1,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,957	△1,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	148	△204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△761	2,436
現金及び現金同等物の期首残高	18,860	21,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,099	24,177

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1 報告セグメントごとの収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Marketing 事業	Financial Services事業	Investment 事業	計		
収益						
外部顧客からの 収益	3,103	133	1,025	4,263	—	4,263
セグメント間の 内部収益又は振 替高	18	△0	△0	18	△18	—
計	3,122	133	1,025	4,281	△18	4,263
セグメント利益 又は損失 (△)	693	△190	559	1,062	△538	524

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△538百万円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していないHD管理コスト△542百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

## 1 報告セグメントごとの収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	Marketing 事業	Financial Services事業	Investment 事業	計		
収益						
外部顧客からの 収益	3,091	84	463	3,639	—	3,639
セグメント間の 内部収益又は振 替高	2	—	—	2	△2	—
計	3,094	84	463	3,642	△2	3,639
セグメント利益 又は損失（△）	826	△29	276	1,073	△496	576

（注）1．セグメント利益又は損失（△）の調整額△496百万円は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配分していないグループ共通管理コスト△485百万円が含まれています。

2．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。